

## 令和4年度 第2回大山崎町社会教育委員会議（報告）

- I 日 時 : 令和4年8月19日(金) 午前10時～同11時30分  
II 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室  
III 出席者 : 16名  
○ 出席委員（7名）  
○ 事務局（9名）  
教育長・教育次長・学校教育課長・生涯学習課長・中央公民館長・歴史資料館長・文化芸術係総括主幹・生涯学習スポーツ振興係員2名  
IV 会議名 : 令和4年度第2回大山崎町社会教育委員会議  
V 内 容 : 以下のとおり

### 【要点】

2件の議題（(1) 令和4年度社会教育委員関係事業報告について、(2) 令和4年度生涯学習課関係事業報告について）について、審議のうえ、いずれも承認された。

また、事務局から8件の報告を行った。

なお、傍聴希望者はなかった。

- |           |     |
|-----------|-----|
| 1 開 会     | 事務局 |
| 2 教育長あいさつ | 教育長 |
| 3 委員長あいさつ | 委員長 |

※ 大山崎町社会教育委員会議運営規則による会議成立の宣言（定足数を満たす7名の委員の出席を確認）

### 4 議 題

※ 以降の進行は委員長が担当

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| (1) 令和4年度社会教育委員関係事業報告について        | 事務局 |
| 事務局から4月から7月までの町社会教育委員に関する事業実績を報告 |     |

\* 質疑応答

< 乙訓社会教育委員等連絡協議会第1回役員会について >  
委員

「令和4年度事業活動方針（案）」について、いろいろな意見が交わされましたが、最終的には、大切な内容であるので1年間議論してから提案してはどうかという結論に至りました。内容的には特に問題はなかったのですが、やはり事前に十分な議論が必要であるという趣旨から否決ということになりました。

#### <乙訓社会教育委員等連絡協議会総会について>

##### 委員

講演では、どのような経過でどのような活動をされているのか詳しく聞かせていただき、大変よかったですと思いました。

#### <京都府社会教育委員連絡協議会総会について>

##### 委員

講演の内容は、「社会教育委員としてこのように頑張ってください」という激励に聞こえました。私自身、社会教育委員を引き受けさせていただいて、いつも会議に出席するだけでよいのかなと思っていましたが、地域で実際に活動することも大切であるというお話を聞いて少し安心しました。基本のお話でしたが、あらためて勉強させていただきました。

##### 委員

講演では、社会教育委員として公的な立場からどのような活動が期待されるのかというお話があり、「行動する社会教育員」として、まずは学ぶこと、社会教育委員でなければ学ばなかったことをしてみることも、もう一つは学んだことを伝えること、人びとに知ってもらい共感する人びとの輪を広げていくことが社会教育委員の役割であるというお話をされました。また地域の課題や住民の学習実態、ニーズを把握するように努めようとのことでした。私も反省しなければならないと思いながら聞いておりました。

##### 委員

私も参加し、講演では「学びを止めず、新しい形のつながりを実践していきましょう」というお話があったのですが、やはりコロナ禍の中では難しいのかなと考えさせていただきました。なかなか糸口が見つからない中で、何が突破口になるのだろうと考えると、若い人材を取り込んで地域を好きになって広げていくということが一番近道ではないかというようなお話もされ、私もそのように思いました。「社会教育委員だより」のようなものを発信してはどうかというようなお話もあり、課題の多さを感じました。

#### <京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会について>

##### 委員

グループワークが実施されたが、これはなかなかおもしろかった。A3の紙を四つ折りして、それぞれが名前、所属、最近の楽しみ、コロナ禍で変わってしま

ったことを書き出して自己紹介し、その後あなたのまち自慢について話し合ってくださいというものでした。私のグループでは、4人全員がそれぞれ丹後の海や綾部の山や西山天王山など自然環境の素晴らしさを挙げました。次に、好きなことをどう活動に生かしていきますかというテーマで話し合いましたが、お互い好きなことを話し合うので、非常に盛り上がりました。私も自身の活動について話をさせていただき、さまざまな質疑を受けて、大変有意義でした。ただ、課題は何かと言われたときに、大山崎町の魅力をどうやって広げるのか、その具体的な方策となるとなかなかできていないなという実感を持ちました。中央公民館とのつながりもないので、何か模索していかなければならないなと思いました。

コロナ禍の中で、研修はあってもグループで話し合うことがなかったので、今回のグループワークは大変よかったなと思いました。

委員

私も楽しかったです。私のグループでも京丹後市の方も南丹市の方も皆さんが「自然」とおっしゃっていましたが、私も天王山や三川合流、そして歴史が、大山崎町のいいところかなと思いました。

委員

私も、コロナ禍の中で声を出し合うことができる場があってよかったなと思いました。

◎各委員が承認

(2) 令和4年度生涯学習課関係事業報告について

事務局

事務局から4月から7月までの生涯学習課関係の事業実績について、「生涯学習・スポーツ振興係」、「体育館」、「文化芸術係」、「中央公民館」、「歴史資料館」の順に報告

\*質疑応答

<スポーツ体験教室について>

委員

スポーツ体験教室のうち軟式野球教室について、1回目の参加者が3名、2回目の参加者が1名ということでしたが、野球の体験教室として成り立っているのでしょうか。少人数だけでどのように実施されているのでしょうか。

事務局

スポーツ体験教室については、スポーツ少年団に依頼し、スポーツ少年団の活動と合わせて実施する形をとっており、チーム競技で体験参加者が少人数であっても競技を体験できます。スポーツ少年団には、体験をきっかけに参加した児童がスポーツ少年団に入団するケースもあるため、積極的に協力いただいていると

ころです。

委員

最近は、他の市町村でも、野球をする子どもは少なく、サッカーに行く子どもが多いと聞きますが、大山崎町でもそのような傾向があるのでしょうか。

事務局

本町も同様で、サッカーは多数の児童を受け入れて指導体制に余裕がないようにも伺っているため、軟式野球教室を実施した事情もあります。他方、バスケットボールの人気は高く、バスケットボールの体験教室には多くの児童が参加しました。

<町スポーツ推進委員によるサタデーナイト事業について>

委員

体育館で開催されているサタデーナイトに7月は110名も参加されたということでしたが、年齢的にはどういう方が多いですか。

事務局

小学生が保護者と一緒に参加し、親子でスポーツを楽しんでいる姿が多く見られるほか、中学生は友だち同士のグループで参加している様子です。そのため、参加者の年齢層は、小学生と中学生、小学生の保護者世代から構成されています。

委員

回を重ねるごとに参加者が増えるということは、「楽しかったので誘い合わせて行こう」と口コミで広がっているのでしょうか。

事務局

新型コロナウイルス感染症が急拡大している状況にありますが、スポーツ推進委員におかれても、参加者の増加に対応して、検温や消毒、休憩時間の設定など対策しながら実施いただいているところです。

<講座・教室などの参加者の地域制限について>

委員

先日、スポーツ体験教室の受付の様子を見かけたとき、町外の参加希望者に対して規則等を理由に断っておられました。参加希望者は大勢でなく1人であったようなので、臨機応変に対応されてもよかったのではないかなと感じました。

事務局

この場で来年度から直ちに参加可能としますとは言えませんが、ご意見を頂戴して、今後に向けて協議させていただきます。

委員

私は近隣市の図書館をよく利用しますが、市外の利用者が貸出は受けられませんが閲覧はできるので、町の体育館などでもそのように枠を拡げられてはどうか。

## 委員

線引きの難しい問題ですね。私の活動している団体は、町内の方は数人で、町外の方が多く、府外からも参加されているという会員構成であり、町の中央公民館サークルとして登録することはできないだろうと思っているのですが、先日の研修会のグループワークで一緒になったある市の職員のお話では、そもそも市域が広いので市外からの参加を想定していないということでした。地域差はあるので、柔軟にできるところは柔軟にできればよいとは思いますが、社会教育活動における地域の範囲の捉え方は難しい面があるなど感じています。おそらく、その他の市町村でも似たような話はあるのではないかなと思います。

## 委員

先日、近隣市で絵本作家の講演会があり申し込みましたが、市民か市内にお勤めの方が対象ということで断られました。

## 委員

私も近隣市の広報誌を見て、興味深い行事等があると問い合わせるのですが、やはり市民か市内にお勤めの方だけ参加できますと断られて、学ぶのは市外の住民でもよいのではないのかと寂しい気持ちになります。大山崎町は小さな町のため内容も限られるので、もう少しグローバルに参加等することができたらよいなと思います。

## 委員

私が活動している団体では、近隣市の施設にも行事などの案内チラシ等を置かせていただいていたのですが、数年前から管理の大変さを理由に市外の団体は断られるようになりました。個人的には、社会教育関係の活動を広げるために広く募っているようなものは、市外であっても置いてよいのではないかとどこかしく思うことがあります。

## 委員

乙訓社会教育委員等連絡協議会で課題として取り上げてもよいかもしれません。せめて乙訓地域内だけでも可能になればと願います。

## ◎各委員が承認

## ※ これ以降の進行は事務局が担当

## 5 その他

事務局

事務局から次の8件について報告

- ① 町議会定例会（6月）における一般質問・答弁について（生涯学習課関係）
- ② 町社会教育関係団体補助金の交付について
- ③ 文化のつどいについて
- ④ 町民体育祭の中止・スポーツフェスティバルの開催について

- ⑤ 男女共同参画計画懇話会及び「おとう飯」レシピコンテストについて
- ⑥ 中央公民館図書室の貸出冊数について
- ⑦ 京都府公民館大会について
- ⑧ 中央公民館改築整備基本計画（案）について

6 閉会あいさつ

副委員長